

長野県住生活基本計画

〔平成 23 年度～平成 32 年度〕

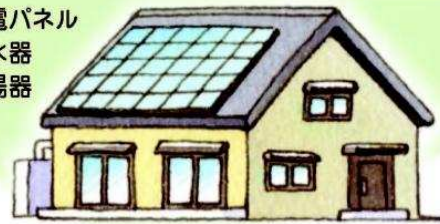
主な取組と目標達成指標

1 人と環境が共生する住まいづくり

住宅の省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用

- 住宅の断熱性の向上への支援
- 高性能省エネ住宅の検討
- 再生可能エネルギー活用住宅の普及
- 省エネ性能の「見える化」の促進

太陽光発電パネル
太陽熱温水器
高効率給湯器



住宅への県産木材利用と地域住宅産業の育成支援

- 県産木材を利用した住宅への支援
- 住まいづくりの担い手育成
- 県産木材を活用した公共施設整備

□ 新築住宅の省エネ基準達成率

現状 (H22) 59% ➡ 目標 (H32) 90%

【進捗状況 : 39.5% (H24)】

□ 太陽光発電システムのある住宅ストック

現状 (H20) 14,100 戸 ➡ 目標 (H32) 75,000 戸

【進捗状況 : *39,478 戸 (H24)】

※国庫補助交付決定数から推計

□ 新設在来木造住宅木材使用量に対する県産木材製品出荷量

現状 (H20) 30% ➡ 目標 (H32) 50%

【進捗状況 : 33.8% (H24)】

主な取組と目標達成指標

2 誰もが安定した居住を確保できる体制づくり

公営住宅の住宅セーフティネット 機能の充実

- 公平、的確な入居制度の推進
- 県営住宅の福祉目的活用
- 計画的な建替え、長寿命化



災害時における被災者の速やかな 住宅確保の支援

- 被災住宅再建支援制度の充実
- 災害時空き家活用体制の整備
- 災害復興へ向けた県産材の活用

□ 公営住宅の供給

目標 (H23~H27) 県営 3,600 戸・市町村営 4,300 戸

【進捗状況 : (H23~H24) 県営 2,397 戸・市町村営 1,803 戸】

□ 最低居住水準未満率

現状 (H20) 2% → 早期に解消

【進捗状況 : H25 住宅・土地統計調査】

□ 高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合

現状 (H17) 0.37% → 目標 (H32) 3~5%

【進捗状況 : 1.72% (H24)】

主な取組と目標達成指標

3 多様な居住ニーズに対応できる住まいづくり

長寿命住宅の普及や住宅の適正な管理と再生を推進

- 長期優良住宅の認定制度等の普及
- 良質なリフォームに対する支援
- 瑕疵保険制度の活用等による既存住宅流通の促進



民間活力による良質で低廉な賃貸住宅の供給促進

- サービス付き高齢者向け住宅整備事業の活用による供給促進
- 高齢社会に対応した新たな住まい方の研究、情報提供

□ 住宅性能表示制度を利用する新築住宅

現状 (H22) 16.5% ➡ 目標 (H32) 40%

【進捗状況：13.5% (H24)】

□ 新築住宅における認定長期優良住宅の割合

現状 (H22) 9% ➡ 目標 (H32) 20%

【進捗状況：15.7% (H24)】

□ 住宅の利活用期間

減失住宅の平均築後年数 現状 (H20) 約 27 年 ➡ 目標 (H32) 40 年

住宅の減失率 現状 (H15～H20) 約 6.2% ➡ 目標 (H32) 約 8%

【進捗状況：H25 住宅・土地統計調査】

□ リフォームの実施率

現状 (H20) 4.8% ➡ 目標 (H32) 8%

【進捗状況：H25 住宅・土地統計調査】

□ 既存住宅の流通シェア

現状 (H20) 8.9% ➡ 目標 (H32) 20%

【進捗状況：H25 住宅・土地統計調査】

□ 誘導居住面積水準

全世帯 現状 (H20) 72% ➡ 目標 (H32) 85%

子育て世帯 現状 (H20) 55% ➡ 目標 (H32) 70%

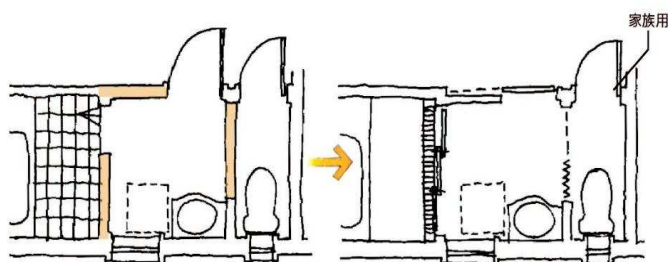
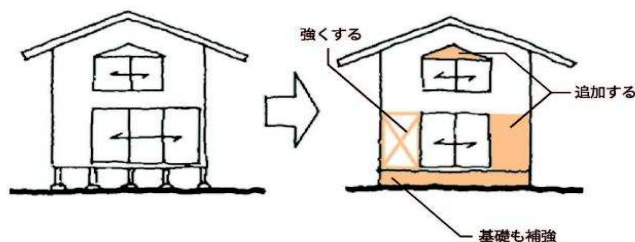
【進捗状況：H25 住宅・土地統計調査】

主な取組と目標達成指標

4 安全・安心な暮らしを支える住まいづくり

建築物の耐震化等による災害に対する備えの促進

- 耐震診断、耐震補強への支援
- 木造住宅耐震診断士の養成
- 災害対応型スマートハウスの研究



ユニバーサルデザインに配慮した生活空間の整備

- ユニバーサルデザインに配慮した住まいづくり、まちづくりの促進
- 保健・医療・福祉と連携した相談体制の整備

□ 住宅・建築物の耐震化率

住宅 現状 (H20) 72% ➡ 目標 (H32) 95%

【進捗状況：H25 住宅・土地統計調査】

特定建築物 現状 (H18) 75% ➡ 目標 (H32) 95%

【進捗状況：(H23) 83.5%】

□ 大規模建築物の吹付けアスベスト除去率

現状 (H22) 17% ➡ 目標 (H32) 50%

【進捗状況：H25 集計予定】

□ 高齢者の居住する住宅のバリアフリー化率

一定のバリアフリー化 現状 (H20) 43% ➡ 目標 (H32) 80%

高度のバリアフリー化 現状 (H20) 12% ➡ 目標 (H32) 25%

【進捗状況：H25 住宅・土地統計調査】

主な取組と目標達成指標

5 次代につなぐ美しい景観とコミュニティを育むまちづくり

地域が主体となった美しい景観の育成、良好な景観への誘導

- 景観育成住民協定の締結と認定を促進
- 市町村の景観行政団体への移行を支援
- 景観法、景観条例による指導



地域コミュニティを育むまちづくりを支援

- 街なか居住の促進
- 過疎地域への若者の定住促進
- 地域の交流スペースの創出

□ 景観育成住民協定の認定数

現状 (H22) 164 件 ➡ 目標 (H32) 175 件

【進捗状況：168 件 (H24)】

□ 景観行政団体市町村数

現状 (H22) 11 市町 ➡ 目標 (H32) 25 市町村

【進捗状況：15 市町村 (H24)】

□ 住民の合意形成によるまちづくり地区数

現状 (H22) 65 地区 ➡ 目標 (H32) 80 地区

【進捗状況：71 地区 (H24)】